



高き理想

新聞を読んでみよう

教室に山形新聞が毎日届いています。生徒のみなさんは、どれだけ目を通してありますか？

最近様々な場面で「新聞を読もう」と言われています。スマホをほとんどの人が持っている状況なので、気軽さと言えば「ネットニュース」のほうが利用しやすいと言えるでしょう。もちろん新聞と同じ内容も載っていますし、記事によっては動画もありますので、内容も充実しています。実際に私もすき間時間があれば、スマホを見てしまいます。即時性もあるので、気になっていたスポーツの結果もすぐに知ることができます。

では、なぜあえて「新聞を読もう」なのでしょう。ひとつ目はいろいろな分野の記事が載っていることです。ネットは見たい記事だけ見る傾向にあります。しかし、新聞では、自分が興味なかった記事も目に入ります。目にしたことで、新たに興味がわくこともあります。そういう意味では、時間がない西高生にとっては、見出しだけサッと見るといった読み方も良いでしょう。ふ



(上)
新聞を読む
3年生



(左)
教室にある新聞。
1年～3年の全
教室にあります。

考えるチカラは知ることから

1学級1新聞 読んでみました

思考の幅を広げる
▽3年 橋ひかりさん
①「1学級から帰ってから全体にさっと目を通して、気になる見出しの記事をじっくり読んでいます。小学生の時、1面の談話室をノートの切り貼りし、自分の考えをまとめていたことをきっかけに新聞を読むようになった。物事の本質を見極める力が備わったと思う。日々の新聞からより多くの情報を得ることで、思考の幅を広げることができている。」

小論文対策に効果
▽渋谷宗馬教諭(2)「保健体育の授業の中で、気になった新聞記事を生徒から発表してもらっている。取り上げるのは保健に関連するもので、新型コロナウイルスや医療、SDGs(持続可能な開発目標)など分野は幅広い。発表を聞いて生徒の考えに新鮮さを感じたり、初めて知る内容もあったりする。新聞から世の中の動きを知り、自分の意見を持つことは小論文対策にも役立つだろう。」

協賛企業 山形銀行、荘内銀行、きらやか銀行、山形県民共済生活協同組合、日東ベスト、日新製菓、アイジー工業、かわでん、角田商事、山形トコベツ、ネットコム、山形日産、山形日産グループ、沼田建設、山和建設、JA全農山形、ヤマザキ、山形ハナダ、山形須藤不動産、ウインハウス、幸栄建設、加藤建築、ウエノ、でん六、大商、金山牧場、進和、バル印刷、山形タイハツ販売、ジョイン、富士通 Japan、電通

公立高普通科版 山形西高

2022年4月4日 山形新聞

たつ目は、一方的な意見ではなく、賛成、反対両方の考えが載っている点です。一紙だけではなく複数読めると、なおいいでしょう。例えば、4月9日の山形新聞に「特定少年、氏名初公表」という記事がありました。今年の4月から18歳成人ということで、3年生には大きな影響がある出来事です。18歳以上の全員が氏名公表とはなりません。社会に重大な影響を及ぼすと判断されれば、実名報道されます。被害者側からすれば、氏名公表は当然です。逆にその人の更生を願うのであれば、実名公表は避けるべきです。その両方の意見が載っており、自分の考えを深めることにも役立ちます。ひいては、それが入試の小論文や面接にも役立つでしょう。余計な話ですが、3年生の10月に総合型や推薦を受けることになり、突然新聞を読み始める人がいます。大学の先生方は入試問題を入試の直前に作るのでしょうか。当然もっと前に作っているでしょう。入試のためだけに急に読むのではなく、日ごろから短時間でもいいので読みたいものです。

ぜひ、教室にある新聞を一度でいいので手に取ってみましょう。新しい発見が待っていますよ！

内容についての質問やご意見は
進路指導課 伊藤 までお知らせください。